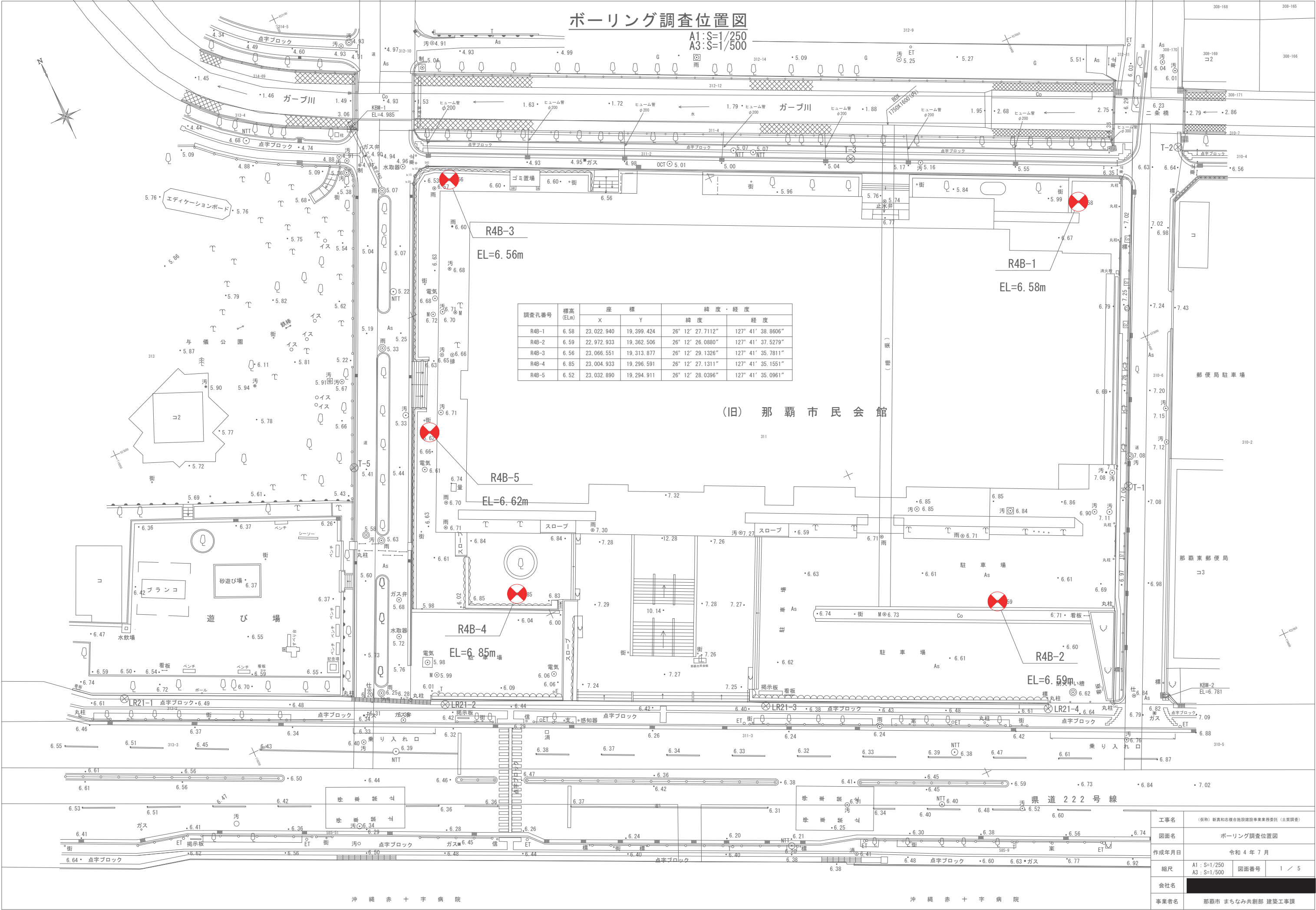




土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名(仮称)新真和志複合施設建設事業業務委託(土質調査)

事業名または工事名

調査目的及び調査対象建築 構造物基礎

ボーリング名R4B-1

調査位置沖縄県那覇市寄宮1丁目2番1号

北緯26° 12′ 27.7112″

発注機関那覇市 まちなみ共創部 建築工事課

調査期間2022年 6月 9日 ～ 2022年 6月 10日

東経127° 41′ 38.8606″

調査業者名

孔口標高EL=6.58m

角度

方位

地盤勾配

使用機種

試錐機YBM-05DA

総削孔長11.19m

エンジンNFD-9

ポンプSSR-55

標尺	標高	深度	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相對密度	相對稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 ／測定月日	標準貫入試験										試料採取			室内位置 試験	削孔 月日								
												深度－N値図										N	深 度	100mmごとの打撃回数			打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度	試料番号	採取方法		
												0 100	100 200	200 300																				
(m)	(m)	(m)										0 10 20 30 40 50 60	値 (m)																					
1	5.58	1.00		埋土 (砂礫)		黄白				埋土層 表層より7cmは鉄筋入のコンクリート、それ以下は石灰岩を主体とした砂礫による埋土層で、部分的に砂分を多く混じる。	06/10 1.81		3	1.15	2	1	1	4	270	470														
2	4.28	2.30		埋土 (礫混じり粘土)		淡灰褐 ～淡褐				埋土層			3	1.62	1	1	1	3	300															
3				粘土		淡褐 ／灰				全体的に礫混じり粘土を呈し、所々に3cm～5cm程度の石灰岩礫を混入する。 非常に柔らかい状態である。			3	2.15																				
4	2.13	4.45		粘土		淡褐 ／灰				沖積層 全体的に柔らかい沖積粘土層で4m付近に有機物を混入する。			1	3.45	0	1		1	450															
5				風化島尻泥岩		灰 ／淡灰				第三紀島尻層群泥岩層 島尻泥岩の風化部で、層上部は軟化しており深度に伴い硬化する。 全体的に中～低含水比で高粘着を示し、コンシステンシーは「非常に硬い」～「固結した」状態である。			37	5.15	11	13	13	37	300															
6	0.58	6.00		島尻泥岩		淡灰							67	6.15	20	22	18	60	270	225														
7				島尻泥岩		淡灰							75	7.15	17	30	13	60	240	200														
8				島尻泥岩		淡灰				第三紀島尻層群泥岩層			69	8.15	23	26	11	60	260	217														
9				島尻泥岩		淡灰				島尻泥岩の新鮮部、低含水比、高粘着でコンシステンシーは「固結した」状態である。			100	9.15	31	29		60	180	150														
10				島尻泥岩		淡灰							225	10.15	60			60	80	67														
11	-4.61	11.19		島尻泥岩		淡灰							450	11.15	60			60	40	33														

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名(仮称)新真和志複合施設建設事業業務委託(土質調査)

事業名または工事名

調査目的及び調査対象建築 構造物基礎

ボーリング名R4B-2

調査位置沖縄県那覇市寄宮1丁目2番1号

北緯26° 12′ 26.0880″

発注機関那覇市 まちなみ共創部 建築工事課

調査期間2022年 6月 10日 ～ 2022年 6月 13日

東経127° 41′ 37.5279″

調査業者名

孔口標高EL=6.59m

角

180°
上下
0°

方位

北0°
西270°
東90°
南180°

地盤勾配

水平0°
鉛直90°

使用機種

試錐機YBM-05DA

エンジンNFD-9

ポンプSSR-55

標尺	標高	深度	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 ／測定月日	標準貫入試験										試料採取			室内位置試験	削孔月日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
												深度－N値図										N値	深 度	100mmごとの打撃回数			打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度	試料番号	採取方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
												0	100	200	200	300																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
(m)	(m)	(m)										0	10	20	30	40	50	60	値	(m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 (仮称) 新真和志複合施設建設事業業務委託(土質調査)

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング 名	R4B-3		調査位置	沖縄県那覇市寄宮1丁目2番1号					北 緯	26° 12′ 29.1326″	
発 注 機 関	那覇市 まちなみ共創部 建築工事課					調査期間	2022年 6月 16日 ~ 2022年 6月 17日			東 経	127° 41′ 35.7811″
調 査 業 者 名											
孔 口 標 高	EL= 6.56m	角		方 位		地盤勾配		使用機種	試 錐 機	YBM-05DA	
総 削 孔 長	12.23m	度		位				エンジン	NFD-9	ポン プ	SSR-55

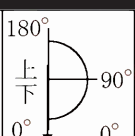
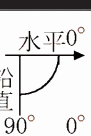
[illegible]

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名（仮称）新真和志複合施設建設事業業務委託（土質調査）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象建築 構造物基礎

ボーリング 名	R4B-4		調査位置	沖縄県那覇市寄宮1丁目2番1号					北 緯	26° 12′ 27.1311″		
発 注 機 関	那覇市 まちなみ共創部 建築工事課					調査期間	2022年 6月 14日 ～ 2022年 6月 15日			東 経	127° 41′ 35.1551″	
調 査 業 者 名												
孔 口 標 高	EL=6.85m	角 度		方 位		地盤勾配		使用機種	試 錐 機	YBM-05DA		
総 削 孔 長	13.25m								エンジン	NFD-9	ポン プ	SSR-55

標尺	標高	深度	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相對密度	相對稠度	地質時代名	記事	孔内水位 ／測定月日	標準貫入試験										試料採取			室内位置試験	削孔月日					
												深度－N値図										深度	試料番号	採取方法							
(m)	(m)	(m)										0	10	20	30	40	50	60	N値	深度 (m)	100mmごとの 打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)	試料番号	採取方法				
1	5.80	1.05		埋土 (砂礫)		淡灰褐 ～淡黄白				埋土層 表層より10cmはコンクリート、0.10m～0.62mは粘土混じり砂礫、それ以深は石灰岩による埋土。	06/17 1.22		7							1.15 1.45	4 2	2 1	1 7	300							
2	4.95	1.90		埋土 (砂混じり粘土)		淡褐灰				埋土層 全体的に砂混じり粘土を呈し、島尻泥岩を主体に3mm～5mm程度の石灰岩礫を若干含有する。	06/18 0.39	2								2.15 2.45	1 200	1		2 300							
3				粘土		淡褐灰 ～灰褐 ～淡灰				沖積層 全体的に沖積粘土を主体に、層上部は砂分を多く含み、所々に2mm～3mm程度の礫を混入する。 コンシステンシーは「軟らかい」状態である。		3								3.15 3.45	1	1	1	3 300							
4	2.35	4.50		風化島尻泥岩								5								4.15 4.45	2	1	2	5 300							
5				島尻泥岩						第三紀島尻層群泥岩層 島尻泥岩の風化部で、4.50m～5.00m間は亀裂があり、亀裂部では褐色に変色が見られる。 所により有孔虫遺骸や黒色の凝灰質砂層を混入する。 6.00m及び7.00mのSPTサンプラー内に凝灰質砂がやや緩い状態で多く含む。		82									5.15 5.37	25	30	5 20	60 220	183					
6						淡灰						45								6.15 6.45	12	16	17	45 300							
7												14								7.15 7.45	2	3	9	14 300							
8	1.15	8.00		島尻泥岩								164								8.15 8.26	52	8 10		60 110	92						
9				島尻泥岩								257								9.15 9.22	60 70			60 70	58						
10				島尻泥岩						第三紀島尻層群泥岩層 島尻泥岩の新鮮部、低含水比、高粘着でコンシステンシーは「固結した」状態で、所により黒色の凝灰質砂層を挟む。		225								10.15 10.23	60 80			60 80	67						
11				島尻泥岩		淡灰						200								11.15 11.24	60 90			60 90	75						
12				島尻泥岩								225								12.15 12.23	60 80			60 80	67						
13	6.40	13.25		島尻泥岩								180								13.15 13.25	60			60 100	83						

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名(仮称)新真和志複合施設建設事業業務委託(土質調査)

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象建築 構造物基礎

ボーリング名	R4B-5	調査位置	沖縄県那覇市寄宮1丁目2番1号				北緯	26° 12′ 28.0396″				
発注機関	那覇市 まちなみ共創部 建築工事課				調査期間	2022年 6月 21日 ～ 2022年 6月 22日		東経	127° 41′ 35.0961″			
調査業者名												
孔口標高	EL=6.52m	角度			方位		地盤勾配		使用機種	試錐機	YBM-05DA	
総削孔長	14.29m	度							エンジン	NFD-9	ポンプ	SSR-55

標尺	標高	深度	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位 ／測定月日	標準貫入試験										試料採取			室内位置試験	削孔月日								
												深度－N値図										N値	深度	100mmごとの打撃回数			打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度	試料番号	採取方法		
												0 100	100 200	200 300																				
(m)	(m)	(m)										0 10 20 30 40 50 60	値	(m)								(m)												
1	5.59	0.93		埋土 (砂礫)						全体的に砂礫を呈し、表層は6cmのアスファルト、0.06m～0.45mは石灰岩砂礫、0.45m～0.70m礫混じり粘土、0.70m～0.93mコンクリートによる埋土。	06/23 2.06		5	1.15	3	1	1	5																
	4.82	1.70		埋土 (礫混じり砂質粘土)									5	1.45				300																
2				埋土 (粘土混じり砂礫)									3	2.15	2	1	1	4																
										全体的に礫混じり砂質粘土を呈し、島尻泥岩を主体に砂を多く含み石灰岩礫を混入する。			3	2.52			170	370																
3	3.62	2.90		粘土									2	3.15	1	1	1	3																
										埋土層			2	3.55			150	400																
4										全体的に粘土混じり砂礫を呈し、相対密度は「緩い」状態である。				4.15	1	1	1	3																
5	1.07	5.45		沖積層						沖積粘土を主体に、層上部は若干の礫を含有し、5m付近は有機物を含む。コンシステンシーは「軟らかい」～「非常に軟らかい」状態である。			3	4.45			150	300																
													0	5.00				0	450			450												
6				風化島尻泥岩						第三紀島尻層群泥岩層			31	5.45																				
										島尻泥岩の風化部、5.00m～6.00m間は亀裂があり、亀裂部は褐色に変色及び軟化する。				6.15	9	11	11	31																
7										所々に有孔虫遺骸や黒色の凝灰質砂を挟む。				6.45				300																
										8.60m～8.78m間は黒色の凝灰質砂を挟む。			39	7.15	12	13	14	39																
8	1.48	8.00								8.45m～9.80m間は亀裂が多く見られる。				7.45				300																
													56	8.15	17	19	20	56	268															
9														8.45				300																
													180	9.15	60			60	83															
														9.25				100																
10										第三紀島尻層群泥岩層				10.15	60			60	83															
										島尻泥岩の新鮮部、低含水比、高粘着でコンシステンシーは「固結した」状態である。				10.25				100																
11										8.60m～8.78m間は黒色の凝灰質砂を挟む。				11.15	51	9		60	92								6 21							
										8.45m～9.80m間は亀裂が多く見られる。				11.26				110																
12														12.15	52	8		60																
														12.27				120	100															
13														13.15	27	33		60																
														13.34				190	158															
14	7.77	14.29												14.15	42	18		60									6 22							
														14.29				140	117															